

川崎市国際交流センター

令和6年度 事業報告書

事業年度 自 令和 6年4月1日

至 令和 7年3月31日

川崎市国際交流センター指定管理者

公益財団法人 川崎市国際交流協会

株式会社東急コミュニティー共同事業体

目次

I 情報収集・提供事業	1
■1 図書・資料室の運営事業	1
(1) 図書・資料室の運営 (2-7)	1
■2 ロビー等の運営事業	3
(1) ロビー、ギャラリー等の運営 (2-7)	3
(2) ロビー等での催事・展示 (2-7)	3
II 広報出版事業	4
■1 広報出版事業	4
(1) 「国際交流センターだより」の発行 (2-8)	4
(2) かわさき国際交流センターニュース「SIGNAL」(シグナル)の発行 (2-8)	5
(3) かわさき FM による情報発信 (2-8)	5
■2 ホームページの管理・運営	6
(1) ホームページ・フェイスブック・ブログの管理・運営 (2-8)	6
III 講座・研修事業	7
■1 日本語講座事業	7
(1) 日本語講座 (2-1)	7
(2) 特別講座 (2-1)	8
(3) 生活にほんごサロン (2-1)	9
(4) 親子で学ぶ日本語サロン (2-1)	10
■2 国際理解講座事業	10
(1) グローバルセミナー (2-3)	11
(2) 外国語による国際理解講座 (2-2)	11
■3 ボランティア養成事業	14

(1) 観光ボランティア通訳セミナー (2-2)	14
(2) 災害時支援ボランティア養成セミナー (2-2)	14
(3) 外国につながる子どもの学習支援サポーター研修 (2-1)	15
(4) 日本語講座ボランティア研修会 (ブラッシュアップ) (2-1)	15
(5) 日本語講座ボランティア登録事前研修 (2-1)	16
(6) 生活にほんごサロンサポーター養成・研修 (2-1)	17
(7) 親子で学ぶ日本語サロンサポーター養成・研修 (2-1)	18
IV 国際交流促進事業	18
■1 国際交流事業	18
(1) 日本語スピーチコンテスト (2-5)	18
(2) 外国人市民・留学生交流事業 (2-3)	19
(3) 世界の音楽会 (2-6)	20
■2 多文化共生推進事業	20
(1) 外国人市民と共生するまちづくりセミナー (2-3)	20
(2) 母語母文化継承支援事業 (2-3)	21
(3) 外国につながる子どもの教育フォーラム (2-3)	21
■ 講座・事業アンケート結果	22
V 外国人相談事業	22
■1 外国人相談事業	22
(1) センター相談事業 (2-4)	23
(2) 相談実績	23
(3) 生活オリエンテーション (2-4)	24

(4) 相談支援（2-4）	25
VI その他の事業	27
■1 国際交流センター設置目的に沿った事業	27
(1) 木月庵の利用拡大	27
(2) オープンスペースの活用	27
(3) センター活用推進検討委員会の活用	27
(4) ユニセフ協会事業への協力	27
(5) 施設利用の促進につながる取組	28
(6) 災害に備えた取組	28
(7) 関係機関、団体等との連携	28
VII 施設運営及び維持管理業務	28
(1) 国際交流センターの管理運営（JV）	28
(2) 施設整備	31
(3) 市民共同おひさま発電所	31
(4) 施設利用実績	32
(5) 収支状況	33
(6) 広告の掲載	33
■ 個人情報の保護状況	33
■ 利用者アンケートの実施	34
(1) 外国人市民利用者アンケート	34
■ 利用者等からの意見などに対する対応状況	38
■ 施設管理運営における事故等の対応状況	39

令和 6 年度公 2 事業報告書（川崎市国際交流センター事業）

（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）

※事業名末尾の（ ）書きは、県申請時の「公益目的事業について」の【事業の内容】の頭書番号です。

I 情報収集・提供事業

■1 図書・資料室の運営事業

(1) 図書・資料室の運営（2-7）

川崎市国際交流センターの図書・資料室の運営においては、図書・視聴覚資料、新聞、雑誌等、国際交流関係資料の充実を図り、資料へのアクセス性向上を視野に所蔵資料・データの更なる組織化を進めるとともに、利用者への情報提供を行った。

一昨年度より進めている、所蔵資料の大規模な再組織化作業を引き続き実施した。

ア 利用時間 10:00～20:00

イ 利用対象 小学校 4 年生以上（小学校 3 年生以下は保護者同伴の場合は利用可）

ウ 複 写 資料の必要箇所を著作権法の範囲でコピー利用を可とした。

白黒コピー（B5～A3）1 枚 10 円

カラーコピー（B5～B4）1 枚 50 円（A3）1 枚 80 円

エ 閲覧等 原則閲覧利用とし、学校等公的団体へは貸出しを行った。

オ 利用者 11,428 名（令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月）

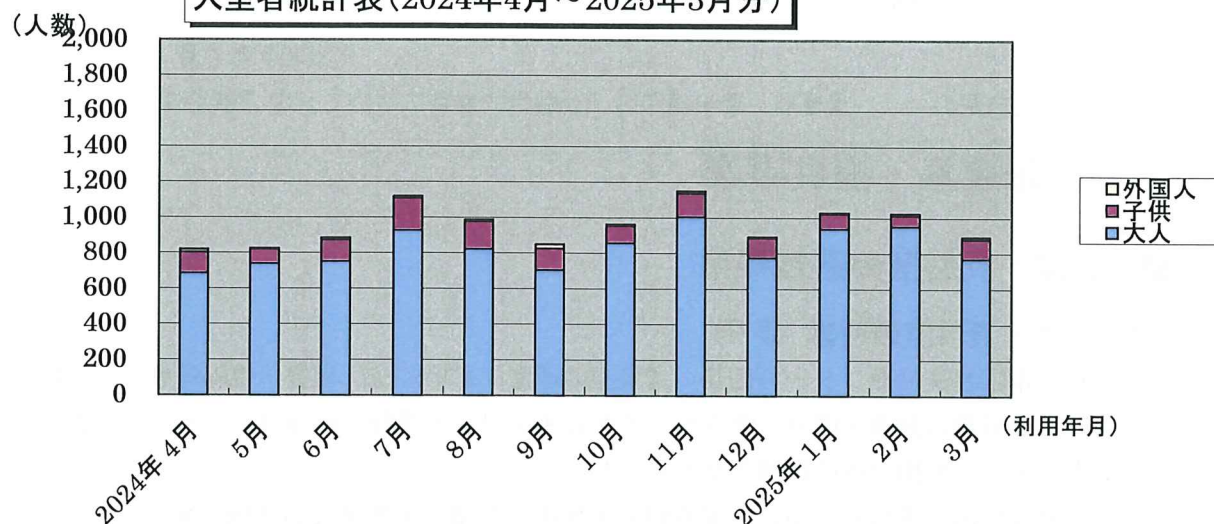
カ よみきかせ（親子）利用者 延べ 1,692 名

入室者統計

（単位：人）

利用年月	開室日数	大人	子供	外国人	総数
2024 年 4 月	29	684	118	16	818
5 月	30	739	81	5	825
6 月	24	752	121	10	883
7 月	30	927	181	11	1,119
8 月	30	823	155	9	987
9 月	28	705	121	23	849
10 月	30	856	98	7	961
11 月	29	1,005	133	11	1,149
12 月	27	776	112	4	892
2025 年 1 月	27	938	86	4	1,028
2 月	27	953	61	11	1,025
3 月	29	770	111	11	892
合計	340	9,928	1,378	122	11,428

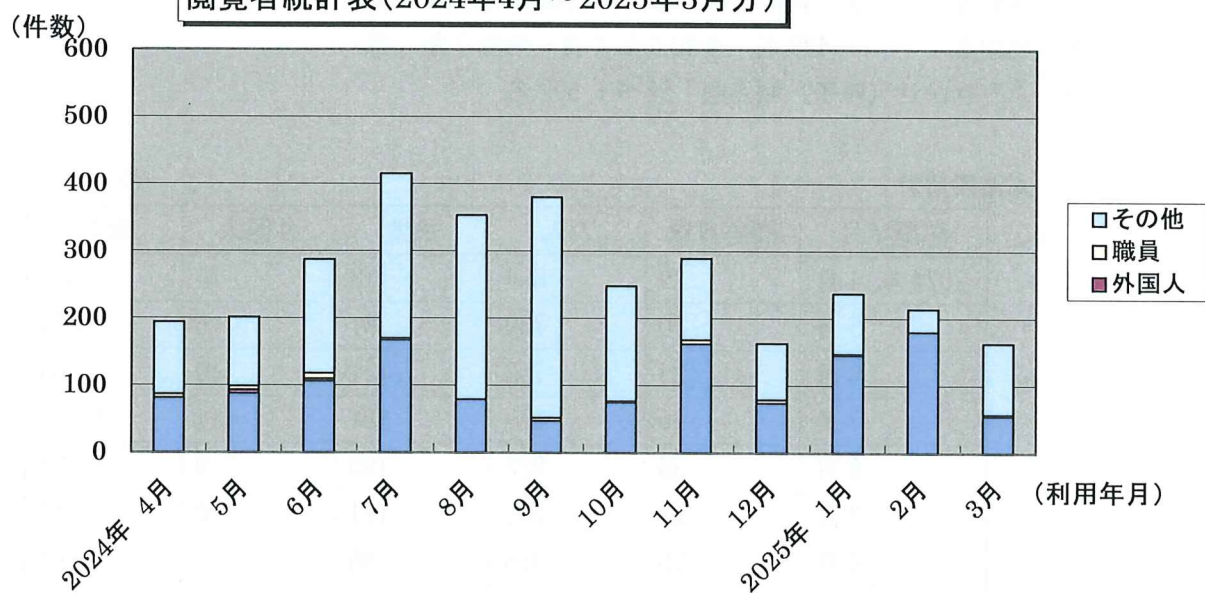
入室者統計表(2024年4月～2025年3月分)



キ 閲覧数 図書等 : 3,106 件 視聴覚資料 (CD、DVD 等) : 38 件

ク 閲覧者統計 一般 : 1,259 件 外国人 : 12 件 職員 : 42 件 その他 1,831 件 合計 : 3,144 件

閲覧者統計表(2024年4月～2025年3月分)



ケ 閲覧図書上位

1 児童書 2,097 件

2 参考図書 260 件

3 言語 200 件

4 アジア 83 件

5 ヨーロッパ 76 件

コ 検索用 PC 利用件数 : 635 件

■2 ロビー等の運営事業

(1) ロビー、ギャラリー等の運営 (2-7)

川崎市国際交流センターの各種施設を活用し、市民及び外国人への情報提供を行った。

ア 外国人への情報提供 (情報ロビー)

外国語専用のパンフレットコーナーを設置し、外国人市民への情報提供を行った。

イ 外国人市民との交流の場の提供 (情報ロビー)

テーブルとイスを設置し、外国の方々との交流の場とくつろぎのスペースを提供し、また12時～15時まで飲食可能な場所とした。

ウ 「おとなと子どもと本のふれあいコーナー」の設置 (情報ロビー)

情報ロビーの一角に幼児用マットを敷き、外国の絵本、児童書、紙芝居等を設置した。

おとなと小学生以下の子どもが一緒に外国の絵本を読み、くつろげるスペースを提供した。

エ 姉妹・友好都市等ギャラリーの活用

姉妹・友好都市との盟約書及び記念品等を展示し、姉妹・友好都市の紹介を行った。

市民・団体などから国際交流に関する所蔵品などを募り展示した。

オ 国際交流に関わる情報提供 (談話ロビー、プロムナード)

国際交流や国際協力、また他団体などの各種事業、イベントなどのポスター、チラシ、パンフレットを掲示・配布し、市民への情報提供を行った。

カ 国際交流に関わる情報交換 (談話ロビー)

市民や団体などからの情報をメッセージボードに掲示し、相互の情報交換を行った。

キ インターネットコーナー (受付前)

無料で利用できるインターネットコーナーの稼働により、市民の情報収集の利便性を高めた。

インターネットに接続したパソコン2台を設置し、市民への情報提供を行った。

(利用時間) 9:30～20:00 (休館日、施設点検日を除く)

(利用内容) インターネットの閲覧のみ

(利用料) 無料。1回あたり30分まで

(利用件数) 438件

ク 地域との連携

第33回川崎ジュニア文化賞 受賞作品展 9月10日～9月24日

第33回川崎ジュニア文化賞 [小学生の作文と絵画のコンクール] 受賞作品展

9月10日(火)～9月24日(火)

会場: 川崎市国際交流センター 展示ロビー
開催時間: 9:00～21:00

絵画の部: 大賞作品



「作文の部」受賞作品 入賞作品「作文」を展示
「絵画の部」受賞作品 入賞作品「絵画」を展示
「作文の部」受賞作品は、9月10日から9月24日まで、川崎市国際交流センター 展示ロビーに展示します。
「絵画の部」受賞作品は、9月10日から9月24日まで、川崎市国際交流センター 展示ロビーに展示します。
入賞作品は、9月10日から9月24日まで、川崎市国際交流センター 展示ロビーに展示します。
入賞作品は、9月10日から9月24日まで、川崎市国際交流センター 展示ロビーに展示します。

(2) ロビー等での催事・展示 (2-7)

国際交流の拠点として、来館者が気軽に世界各国の文化に触れられるように、国際交流の写真や絵画所蔵品などの展示などを無料で行った。

ア 情報ロビー

	利用内容	主催団体等	利用期間
1	「いろいろな国のことばで世界の絵本と紙芝居」(多言語読み聞かせ)	(公財) 川崎市国際交流協会	8/17、9/14、 10/5、11/9、 12/14、1/11
2	外国人市民とともに行う防災訓練	(公財) 川崎市国際交流協会	2/21

イ 談話ロビー

	利 用 内 容	主催団体等	利用期間
1	フットメザ体験会&講習会	フットメザジャパン	4/21、5/19、 6/23、7/21、 8/4、10/20、 11/17、12/8、 2/16、3/16
2	外国人市民とともに行う防災訓練	(公財)川崎市国際交流協会	2/21

ウ 展示ロビー

	利 用 内 容	利用期間
1	版画展（個人利用）	5/29～6/1
2	協会の多文化共生の取組（協会）	7/5～7/23
3	かわさき国際交流民間団体の紹介等（協会）	7/30～8/5
4	書道教室作品展示（団体利用）	8/6～8/12
5	第33回 川崎ジュニア文化賞 受賞作品展（川崎信用金庫、協会）	9/10～9/24
6	書道作品展（団体利用）	10/16～10/20
7	楷・行・かな作品展（団体利用）	10/25～10/27
8	浮世絵レプリカ展示（川崎浮世絵ギャラリー）	11/19～12/6
9	エチオピア児童絵画展（川崎 JICA ボランティアの会）	12/8～12/26
10	絵画作品展（団体利用）	1/11～1/13
11	書道作品展（団体利用）	2/1、2/2
12	インクルーシブ防災まつり（団体利用）	2/23、2/24
13	まちかどパラアート展（社会福祉法人）	3/4～3/18

エ ギャラリー

	利 用 内 容	利用期間
1	ミニラオス展（協会）	5/4～11/17
2	浮世絵レプリカ展示（川崎浮世絵ギャラリー）	11/19～12/6

Ⅱ 広報出版事業

■1 広報出版事業

(1) 「国際交流センターだより」の発行（2-8）

(目的) 川崎市国際交流センターをより身近な施設として利用していただくため、センター等の催物や講座、施設についての情報をニュースレター形式で発信すること。

(発行) 年間 10 回

(部数) 2,700 部/回 (「SIGNAL」発行月は 3700 部)

(内容) 月間の行事予定、講座及び行事の募集、センターからのお知らせ、施設点検日・休館日のお知らせ、その他

(配布先) 各区役所・市民館・図書館など公共施設、川崎市内公立小中学校・高校、その他国際交流関係機関など

(2) かわさき国際交流センターニュース「SIGNAL」(シグナル)の発行(2-8)

(目的) センター等の事業ならびに市内の国際交流活動、ボランティア活動などを紹介すること。海外在住の日本人や JICA の海外協力隊員、国内の外国人市民に、さまざまな国の生の情報や文化等を市民目線で寄稿してもらい、日本で暮らす外国人市民の異文化感覚や多文化共生にもつながる知識や情報など、幅広く市民に提供すること。

(発行) 年 4 回(季刊)

(部数) 5,000 部/回

(配布先) 各区役所・市民館・図書館などの公共施設、川崎市内小中学校・高校・大学、国際交流関係団体、地域、賛助会員、ボランティア等



(企画・編集等)

職員と編集ボランティアで企画・編集会議を開催し、毎号、紙面構成に基づく企画、取材、原稿作成、校正、発送などを行った。

(総括)

編集ボランティアと共に編集会議や企画会議を開催し、市民目線での企画提案を取り上げて、取材や寄稿を依頼し、原稿の校正・校閲も行っている。今後も国際理解や多文化共生社会の推進を目指した発行とする。

(3) かわさき FM による情報発信(2-8)

スポンサーとなっている「世界の国からこんにちは」の番組では、川崎市内施設で学ぶ日本語講座の学習者等が出演し、自国での経験や外国の新しい情報を届けた。

(出演日時) 令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月

(場所) 武蔵小杉タワープレイス 1 階 かわさき FM ブース

(参加者) 各回 2～3 名の外国人市民とボランティア 1 名

また、10月14日（月）には「わが家の危機管理」の番組内で、「災害時支援ボランティアセミナー」の事業についての紹介等を行った。

■2 ホームページの管理・運営

(1) ホームページ・フェイスブック・ブログの管理・運営（2-8）

ア ホームページの運営

センター・協会のホームページで、市民及び外国人等に対し国際交流や多文化共生等に関する様々な情報を提供した。ワンストップセンターの設置により相談事業等の対応言語が増えたことから、ホームページについても掲載言語を増やし多言語化を進めた。なお、記載や記述については、ウェブ・アクセシビリティに適合したものとしている。

ホームページ URL <https://www.kian.or.jp/>

・アクセス数 161,183（1日あたり 442 アクセス）

・更新回数 2,404 回

（ア） 外国人向け情報

日本語講座 外国人窓口相談 生活情報 多言語ブログ

（イ） センター施設のご案内

施設の利用申込み 施設の紹介 図書・資料室

（ウ） 国際交流の取組

川崎市の魅力発信 外国人市民に関するデータ 外国につながる親子のための情報

国際交流補助金交付事業 姉妹友好都市 かわさき国際交流民間団体

外国人留学生修学奨励金事業

（エ） 新着情報・イベント・講座情報

イベント・講座 トピックス一覧

（オ） 広報からの情報発信

ハローかわさき S I G N A L センターだより 図書・資料室だより 公式 Facebook

公式 YouTube

（カ） 協会について

国際交流協会案内 賛助会員 申請様式ダウンロード ボランティア募集のお知らせ

イ フェイスブックの活用

毎週約4回以上、センターのイベントや講座及びセンターの様子などについて、写真や画像を掲載し、最新の情報を提供した。言語は内容に応じて日本語と「やさしい日本語」を使用した。

・アクセス件数（Daily Organic Reach）：42,779 7ヶ月（月あたり 3,565 7ヶ月）

・いいね！ 1,589（令和7年3月末）

・フォロワー 1,900（令和7年3月末）

また、多言語 Facebook では、10言語で言語や文化につながる市民への情報提供を行った。

ウ ブログの活用

「ブログ歳時記」として、日本の文化や風習と、外国人市民の生活情報に関わる情報を取り交ぜ、多言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、ネパ

ール語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、やさしい日本語、日本語）で月2回発信した。
アクセス件数 10,372アクセス（月平均 864アクセス）

エ その他メディアの活用

川崎市のソーシャル・ネットワーキング・サービスの活用

- ・タウンニュース中原区版
- ・「かわさきイベントアプリ」
- ・なかはらメディアネットワーク
- ・かわさきの生涯学習情報（川崎市生涯学習プラザ）
- ・かわさき市民活動ポータルサイト「応援ナビかわさき」ほか

Ⅲ 講座・研修事業

■1 日本語講座事業

外国人市民等の日本語学習を支援するため、段階別クラス編成による少人数での日本語講座を開講した。

(1) 日本語講座（2-1）

ア 午前コース（9:50～11:50） 週2回 火・金曜日

保育あり（1歳以上）

1学期：4月9日～6月25日（22回）

2学期：9月17日～11月29日（22回）

3学期：1月7日～3月7日（17回）

月	ク ラ ス	主 な 国 籍	人 数
4月	中級3、初級5	中国、インドネシア、フィリピン 他	52名
5月	中級3、初級5	中国、インドネシア、フィリピン 他	52名
6月	中級3、初級5	中国、インドネシア、フィリピン 他	52名
9月	上級1、中級2、初級6	中国、フィリピン、タイ他	50名
10月	上級1、中級2、初級6	中国、フィリピン、タイ他	54名
11月	上級1、中級2、初級6	中国、フィリピン、タイ他	50名
1月	上級1、中級2、初級6	フィリピン、中国、アメリカ他	57名
2月	上級1、中級2、初級6	フィリピン、中国、アメリカ他	64名
3月	上級1、中級2、初級6	フィリピン、中国、アメリカ他	50名

イ 夜間コース（18:30～20:30） 週1回 水曜日

1学期：4月10日～7月3日（12回）

2学期：9月4日～12月11日（15回）

3学期：1月8日～3月5日（9回）

月	ク ラ ス	主 な 国 籍	人 数
4 月	上級 1, 中級 2、初級 4	中国、アメリカ、フィリピン他	40 名
5 月	上級 1, 中級 2、初級 4	中国、アメリカ、フィリピン他	37 名
6 月	上級 1, 中級 2、初級 4	中国、アメリカ、フィリピン他	34 名
7 月	上級 1, 中級 2、初級 4	中国、アメリカ、フィリピン他	29 名
9 月	上級 1, 中級 1、初級 5	中国、フィリピン、アメリカ他	32 名
10 月	上級 1, 中級 1、初級 5	中国、フィリピン、アメリカ他	38 名
11 月	上級 1, 中級 1、初級 5	中国、フィリピン、アメリカ他	33 名
12 月	上級 1, 中級 1、初級 5	中国、フィリピン、アメリカ他	28 名
1 月	上級 1, 中級 1、初級 5	フィリピン、アメリカ、タイ他	44 名
2 月	上級 1, 中級 2、初級 5	フィリピン、アメリカ、タイ他	39 名
3 月	上級 1, 中級 2、初級 5	フィリピン、アメリカ、タイ他	25 名

(講師) 協会登録の日本語講座ボランティア

(会場) 川崎市国際交流センター 会議室、協会会議室、研修室、ボランティア活動ルーム、団体活動ルーム

(学習者) 延べ 860 名 (31 か国・地域)

(総括)

「川崎市地域日本語教育推進方針」のもと、「日本語教育の推進に関する法律」及び「日本語教育の参照枠」を踏まえ、入門～初中級クラスに国際交流基金の「まるごと (かつどう編)」の教科書を導入した。これまでの文法積み上げから、会話、リスニング中心の内容に変わった。学習者からは、たくさん会話練習ができて楽しい、この教科書を使い続けたい、という好意的な感想が多く聞かれた。会話練習が増えたことで学習者同士が仲良くなり、講座に来るのが楽しみになっていると感じる。またボランティアからも、各課で場面設定がされているので教えやすい、という感想があった。学習者、ボランティア双方にとっても良い効果が表れていると感じる。入門や初級を学ぶ新規学習者が増えた。



日本語講座 午前コース



日本語講座 夜間コース

(2) 特別講座 (2-1)

学習者に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

	開催日	内 容	学習者	ボランティア
ふれあい交流	10月29日 (火)	「東海道かわさき宿交流館」で川崎の歴史を知る	午前コース 34名	11名
	2月16日 (日)	「曹洞宗大本山総持寺」で禅について学ぶ	夜間コース 14名	6名
日本文化体験	10月2日 (水)	茶道体験	夜間コース 30名	11名
	2月7日 (金)	殺陣体験	午前コース 50名	9名

(総括)

ふれあい交流は、午前コースは、江戸時代の川崎の歴史について学び、当時の街並みを再現したジオラマやタッチパネルで各自楽しんだ。道中にクラスメイトとの会話も弾み、授業以外で交流を深めるよい機会となった。夜間コースは、ドイツ人僧侶による日本語と英語のガイドで、寺の歴史や修行僧の生活の話を聞き拝観した。希望者の座禅体験は、ほとんどの学習者が参加した。禅に対する学習者の関心の高いことをうかがい知ることができた。

日本文化体験は、午前コースが殺陣の演舞と体験、甲冑の着付け、夜間コースが木月庵にて茶道体験をおこなった。学習者からは「素晴らしい体験だった」という感想がたくさんあった。茶道の「和敬清寂」の意味や、お辞儀には角度によって3種類あること等を学び、普段正座することもない学習者にとって、貴重な経験となった。



(3) 生活にほんごサロン (2-1)

外国人市民を対象に、日本語による日常生活や会社でのコミュニケーション力を学べる機会を土曜・日曜日・祝日に提供するとともに、相互文化について理解を深め、多文化共生の場を提供する。

(期間) 令和6年4月～令和7年3月 土日祝日 ※オンラインは任意の時間

(時間) 10:00～16:00の間 1時間～2時間程度

(会場) 川崎市国際交流センター エントランスロビー、情報ロビー、談話ロビー、オンライン

(内容) 日本語学習を希望する外国人学習希望者が平日開催の日本語講座に参加できない場合、週末・祝日の生活にほんごサロンを案内している。日本語学習希望者の申し込みにより、随時、サポーター（ボランティア）とのマッチングを行う。初回は職員が立ち会って顔合わせを行い、学習内容を決め、その後はサポーターと学習希望者が学習日や学習時間を調整しながら進めている。

(参加費) 無料

(参加人数) 学習者 延べ 711 名 サポーター 延べ 711 名

月	外国人学習者	サポーター
4 月	45 名	45 名
5 月	59 名	59 名
6 月	65 名	65 名
7 月	52 名	52 名
8 月	56 名	56 名
9 月	65 名	65 名
10 月	64 名	64 名
11 月	65 名	65 名
12 月	51 名	51 名
1 月	61 名	61 名
2 月	57 名	57 名
3 月	71 名	71 名

(総括)

「生活にほんごサロンでは、外国人学習者とサポーターがマンツーマンで学習内容や学習日を相談しながら行っている。内容は、生活や会社で使う語彙の習得や会話の練習、日本語能力検定試験の合格を目指したものなど、学習者の日本語習得目的によって様々である。そのため、サポーターが学習者の相談相手になり、良き話し相手にもなっている。また、転職活動のサポートやインターネットの初期設定の手伝いなど生活全般に係る多岐に渡った支援を行っている。地域の隣人としての活動の場となっている。

生活にほんごサロン 日本語学習サポートの様子



(4) 親子で学ぶ日本語サロン (2-1)

サポーター団体が活動を休止したため実施しなかった。

■2 国際理解講座事業

地域社会の多文化共生の推進や国際文化の理解促進に向け、外国語による文化や課題などの紹介や国際理解を深める事業を行った。

(1) グローバルセミナー (2-3)

映画「アリララブソディ ～海を越えたハルモニたち～」を上映することで、ハルモニの口から語られる人生を社会的状況と共に知ることにより、あらためて平和、多文化共生、これからの社会について、一緒に考える機会とした。

(日時) 令和7年1月11日(土) 13:00～16:00

(会場) 川崎市国際交流センター ホール

(参加費) 有料

(内容) 「アリララブソディ ～海を越えたハルモニたち～」映画上映

監督・出演したハルモニのお話、踊りと歌

(参加者) 173名

(総括)

「ずっと見たかった映画が交流センターで開催するので、申し込みました。」「私もハルモニと同世代なので、ぜひ映画を見たいと思いました。」などのご意見と共に、多くの人の参加があった。

「今まで知らなかった川崎を知ることができた。」「すばらしいドキュメンタリーだった。」「ハルモニからパワーをもらった。」などたくさんの声をいただいた。映画でハルモニが生きて来た歴史を学んだ後、直接交流できたことで、さらに来場者の心に響くものがあったのだと思う。



(2) 外国語による国際理解講座(2-2)

ア 英語による国際理解講座

(ア) 英語による国際理解講座(前期)

英語講座講師などの外国人市民等を講師に招き、中級レベル以上の英語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。それぞれの母国の文化や歴史、異文化理解、多文化社会等について、講義と交流を行った。

(日時) 令和6年6月13日、20日、27日(木) 19:00～20:30

(会場) 川崎市国際交流センター 協会会議室

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	6月13日	二つの世界の間 リトルマーメイドとポニョ	語学講師	20名

2	6月20日	アメリカ VS 日本ポップカルチャーのファンダムとその影響について	ユーチューバー	22名
3	6月27日	フィリピンの文化を探検する旅	IT系会社員	19名

(実施方法) Zoomによるオンライン

(総括)

昨年度に引き続き、オンラインで講座を開催した。文化紹介、海外から見た日本のアニメなど幅広いテーマの講義が行われた。受講者も熱心に聴講し、多岐に渡る内容の質問や感想を自由に発言することができた。



(イ) 英語による国際理解講座 (後期)

(日時) 令和年6月10月5日、12日、19日(土) 15:30~17:00

(会場) 川崎市国際交流センター 第4・5会議室

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	10月5日	日本で暮らすユーチューバーのライフスタイル	ユーチューバー	33名
2	10月12日	カルチャーコンパス: ホフステードの6次元モデルで日本とフィリピンを行く	IT系会社員	23名
3	10月19日	2024年パリオリンピック 私のボランティア体験	語学講師	24名

(総括)

コロナも落ち着いたため、久しぶりの対面開催となった。今回の講師は協会の日本語講座に通う方々に依頼をした。各分野での講師の活躍は素晴らしく、英語という言葉を通して受講者と講師との間にコミュニケーションが生まれ、活発な質疑応答からはそれぞれに新たな学びが見受けられた。



イ フランス語による国際理解講座

当協会の語学講座でフランス語を教えているカナダ人講師に依頼し、フランスの世界遺産について講義を行った。

(日時) 令和7年2月1日(土) 13:00~14:30

(会場) 川崎市国際交流センター 第4・5会議室

(内容) 光の都 パリの世界遺産

(講師) フランス語講座講師

(参加者) 30名

(総括)

講師が日本語に堪能であることと、講座の内容を理解してもらいたいこともあり、フランス語で話してから日本語の訳を少しつける形になった。受講者の理解度を見ながら言語の量を調整できる講師は本当に素晴らしかった。受講者の中には、以前は勉強をしていたが久し振りにフランス語に触れた人、フランス語は分からないが興味があり参加した人もいたので、言語や文化に触れるきっかけとして、今後は各言語の国際理解講座を展開していければと思う。



ウ 韓国語による国際理解講座

当協会の国際理解協力ボランティアである韓国人講師に依頼し、中級レベル以上の韓国語学習者を対象に、韓国語による料理教室を開催した。

(日時) 令和7年3月9日(土) 14:00~16:00

(会場) 川崎市国際交流センター 調理室

(内容) 韓国語で紹介する韓国家庭料理

(講師) 国際理解協力ボランティア

(参加者) 21名

(総括)

コロナのため休止していた料理講座としては、久しぶりの開催となった。説明は韓国語で行うため、単語が分からない人もいたようであったが、受講者同士で訳したり、皆で助け合いながら参加していた。受講者が全員女性だったため、賑やかな時間となった。学んで、食べて、交流して、楽しい講座となった。



■3 ボランティア養成事業

(1) 観光ボランティア通訳セミナー (2-2)

外国人観光客の状況や対応の仕方を学び、川崎でできるおもてなしを考えるセミナーを開催した。

	日 時	内 容	講 師
1	9 月 14 日 (土) 10:00～15:00	・街歩きは文化の宝箱／街歩きツアーを考える ・街歩きの情報を探しに行ってみよう／オリジナルツアーのプランを作る	秀明大学准教授 (元 JTB 勤務)
2	9 月 28 日 (土) 14:00～18:00	・おもてなし英語を学ぼう／作成したツアーをブラッシュアップ ・ブレーメン通り商店街でツアー実践	慶応義塾大学教授 (協会語学講座講師)

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

モトスミ・ブレーメン通りで両日フィールドワークも実施

(参加者) 29 名

(総括)

講師からその街ならではの魅力の深掘りの視点での紹介の切り取り方が教授され、ツアープラン作成の課題に取り組んだ。ブレーメン通り商店街振興組合理事長から商店街の成り立ち等の紹介、川崎市から市の観光取組について説明も受け、多くの受講者がツアープランに盛り込んでいた。また、ガイド内容の英訳について講師から指導を受け、実際に観光客役の留学生を相手にツアーを行った。受講者からは、こういった企画にまた参加したいといった声が多々あり好評であった。川崎市を訪れた外国人観光客が、また来たくなるようなツアー作りとおもてなしを学び、地元のブレーメン通り商店街の魅力をプランニングからフィールドワークまでダイナミックに体験でき、商店街及び中原区に学生寮があるテンプル大学と連携し、交流が行えた講座となった。



(2) 災害時支援ボランティア養成セミナー (2-2)

川崎市で想定される災害及び対策、避難所の開設などについて学び、川崎市及び近隣で災害が発生した際に、避難所でのボランティアの役割について考えるセミナーを実施した。

(日時) 令和 6 年 11 月 30 日 (土) 14:00～16:00

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(内容) 第 1 部 「川崎市で想定される災害及び対策について」「避難所の開設等について」

川崎市危機管理本部危機管理部職員

第 2 部 「多文化防災ワークショップ」

「やさしい日本語について」

「避難所でのボランティアの役割について」

当協会職員

(参加者) 29 名



(3) 外国につながる子どもの学習支援サポーター研修 (2-1)

ア「日本語・教科学習支援者ためのブラッシュアップ講座」

(日時) 令和 7 年 2 月 11 日 (火祝) 13:00~17:20

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(講師) 横浜市国際教室教諭ほか

(内容) 日本語が不十分な外国につながる子どもの力を育てていくための支援、教科理解をめざした支援

(参加者) 32 名

(総括)

外国につながる子どもの支援において、「今、ここ」でだけの支援は十分ではない。子どもの今までとこれから、母国での生活と今の学校生活、家庭生活や在留資格などを把握して考慮しながら、必要なニーズに対応することが必要ということを改めて学んだ。



(4) 日本語講座ボランティア研修会 (ブラッシュアップ) (2-1)

(日時) 令和 6 年 10 月 5 日 (土) 10:00~12:00

(講師) 国際交流基金「まるごと」の主要執筆者

(内容) 1 学期に「まるごと」を使った授業の振り返りをし、今後の課題解決につなげた。

(参加者) 24 名 (当協会日本語講座ボランティア、関係者)

(総括)

今年度初めて導入したテキストなので、ボランティアの中でも授業の仕方に戸惑いや疑問があるように感じ、少しでも疑問を解消するため実施した。ボランティア同士で意見交換する場が普段は無いので、ボランティアも悩みを共有できて安心したようだ。講師から疑問に答えてもらったことで、よりテキストに対する理解も深まり、解決策も見いだせたようだった。



(5) 日本語講座ボランティア登録事前研修(2-1)

(日時) 令和7年1月21日、28日、2月4日、18日(火) 14:30～16:30 ほか

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(参加者) 9名

	開催日	内 容	講 師
1	1月21日	川崎市の地域日本語教室の歩み、日本語ボランティアの役割、川崎市識字・日本語学習活動の指針、川崎市地域日本語教育推進方針	川崎市生涯学習財団 多文化共生マネージャー
2	1月28日	川崎市の外国人市民の実態と日本語のニーズ、日本語教育の参照枠と生活 Can Do の必要性	川崎市市民文化局多文化共生推進課専門調査員
3	2月4日	『まるごと』の概要と「かつどう」の特徴(文型中心の方法との違いなどを解説)	国際交流基金「まるごと」 主要執筆者
4	2月18日	『まるごと』『かつどう』の使い方(グループ活動、動画視聴、講師解説を通して、『まるごと』の使い方を学ぶ)	同上
	2月25、 26、28日 のいずれか	実際の日本語講座を見学し、ボランティアの教え方や学習者の様子を知る。	—

(総括)

川崎市の暮らす外国人市民の環境やニーズ、川崎市の地域日本語教育の方針などを理解した上で、「まるごと」のテキストについて理解することができた。なぜ識字学級ができたのか、ボランティアの役割は何か、ということスムーズに学べたと思う。実際の講座を見学して、思ったより学校みたいだった、という感想があった。初級クラスは学習者人数が多いが、先生と生徒という関係ではなく、共に学びながら、楽しい講座となるようにしていきたい。



(6) 生活にほんごサロンサポーター養成・研修(2-1)

ア 「生活にほんごサロン」サポーターブラッシュアップ研修

(日時) 令和6年5月25日(土) 10:00~15:00

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

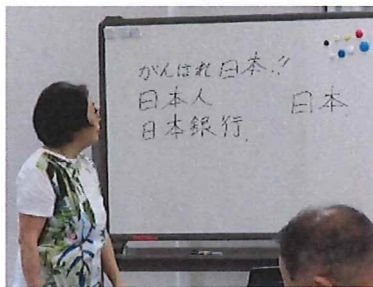
(内容) 現サポーターのための、学習や情報の交換やアップデートを行う。

(講師) 公益社団法人日本語教育学会 人材育成コーディネーター

(参加者) 15名

(総括)

日頃はマンツーマンで学習支援やサポートを行っている為、学びの情報交流やサポーター同士の交流が活発に行われた。サポーターのテーブル分けも有資格者や初心者などで分けた。歓談の時間も設け、普段は交流する機会がないサポーター同士が親睦を深め、疑問点なども確認し合える場となった。



イ 「生活にほんごサロン」新規サポーター養成研修(全3回)

(日時) 令和6年6月15日、22日、29日(土) 14:00~16:00

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム、レセプションルーム

(内容) 土日祝日に一対一で日本語学習をサポートし、地域の隣人として外国人の生活を支援する「生活にほんごサロン」のサポーターを養成する。

(講師) 公益社団法人日本語教育学会 人材育成コーディネーター

(参加者) 36名

(総括)

受講の問い合わせが多くあり、研修後は、ほぼ全員がサポーターに登録してくれた。今後も継続してサポーターを養成し、地域の隣人としてのボランティア活動を推進したい。



ウ 「生活にほんごサロン」交流会

(日時) 令和6年12月14日(土) 14:00~16:00

(会場) 川崎市国際交流センター レセプションルーム

(内容) サポーターと学習者が一堂に会して交流する会を設け、学習方法の共有や有益な情報を共有し交流する機会を設ける。

(講師) 公益社団法人日本語教育学会 人材育成コーディネーター

(参加者) 38 名

(総括)

サポーターと学習者が半々の参加となり、日本語と英語を使用した、国際的かつアットホームな雰囲気では皆が会を楽しんだ。座席をサロンのペア同士の並びにしたが、他の方々とも交流したいとの意見があり、次回は別の方との組み合わせを考えたい。「生活にほんごサロン」のサポーターや学習者には様々な方が在籍している。マッチング時に職員とも必ず顔を合わせている事もあり、他の事業にも快く協力してもらえる関係性が築けている。



(7) 親子で学ぶ日本語サロンサポーター養成・研修(2-1)

サポーター団体の活動休止のため、実施しなかった。

IV 国際交流促進事業

■1 国際交流事業

(1) 日本語スピーチコンテスト (2-5)

川崎市内の大学や専門学校の留学生や日本語講座の学習者及び企業等の外国人研修生等を対象に、「第 30 回日本語によるスピーチコンテスト」を開催し、日本人と外国人との相互理解を深めた。

(日時) 令和 7 年 2 月 8 日 (土) 13:00~16:00

(会場) 川崎市国際交流センター ホール

(協賛等) 協賛: 川崎ライオンズクラブ、川崎中ロータリークラブ

協力: 国際ソロプチミスト川崎、川崎市アートセンター、川崎市岡本太郎美術館、
かわさき宙と緑の科学館、川崎市立日本民家園、川崎浮世絵ギャラリー、
東京衣裳きもの学院

後援: 川崎商工会議所、川崎市教育委員会

(対象) 日本語を母語としない来日 5 年以内の外国人で、企業の外国人研修生、市内の大学・専門学校の留学生、市民館等の日本語講座の学習者等

(出場者) 16 名 (10 か国)

「未来のウェイへ、今、私は頑張っています」柿生日本語土曜教室 (ミャンマー)

「私の人生の生き方」洗足学園音楽大学 (中国)

「瞬間」日本語クラブ「土曜の会」(ベトナム)
 「後悔しない私の日本の生活」米山ファッションビジネス専門学校(ネパール)
 「コンフォートゾーンから抜け出す」日本語教室「WaiWai 広場」(台湾)
 「世界に愛」生活にほんごサロン(中国)
 「日本の山に魅せられて」川崎市国際交流協会(中国)
 「縁」日本語クラブ「土曜の会」(ベトナム)
 「私の高校生活」日本語教室わかば(ネパール)
 「私はチャライ人ではありません！」外語ビジネス専門学校(韓国)
 「働くおじいちゃん、おばあちゃんが教えてくれたこと」川崎市国際交流協会(中国)
 「褒める文化」米山ファッションビジネス専門学校(モンゴル)
 「日本で民族文化に基づく多様性について」日本語クラス せかいじん(中国)
 「私の一番怖いこと」専修大学(カンボジア)
 「心から願った夢はかないます」教育文化会館(ウズベキスタン)
 「まあ、いいか！」川崎市国際交流協会(フィリピン)

(参加者) 一般参加者 161 名、関係者 22 名、ボランティア 28 名

(総括)

出場者による日本に来る前に抱いていた不安、日本に来たことを後悔して帰国まで考えたこと、辛くても頑張っている話、日本人に助けられた話など、聞く人の心に響くエピソードがたくさんあった。スピーチを通して、多文化共生社会に向けての相互理解につながっていると考える。スピーチの様子はビデオ撮影し、ホームページに掲載し、当日会場に来られなかった方々にも見られるようにした。



(2) 外国人市民・留学生交流事業 (2-3)

インターナショナル・フェスティバル内で、1つのコーナーとして開催した。

(日時) 令和7年11月17日(日) 10:00~16:00

(会場) 川崎市国際交流センター 第4・5会議室

(参加人数) 約300名の親子他

(内容) ①留学生と一緒に遊ぼうコーナー

折り紙、ジェンズ(中国のけまり)、チェギチャギ(韓国のけまり)、
 コンギ(韓国のおはじき)、マンカラ(フィリピンその他の国で遊ばれている)、
 中国の切り紙、じゃんけん、数の数え方、動物の鳴き声、いろいろな国のあいさつ など

②グループ発表

- ・「生活に役立つ 100 円ショップのグッズを紹介」
- ・「川崎市の魅力を写真で紹介」
- ・「日本でできる簡単自国料理のレシピを紹介」
- ・「川崎市をイメージした曲を創る（作詞・作曲）」

（総括）

留学生と一緒に遊ぼうコーナーは、スタンプラリーのチェックポイントにもなっていたため、親子連れが、たくさん訪れ、留学生と楽しく遊んでいた。留学生にとっても、直接子どもたちと遊ぶことはとても楽しかったようだ。

留学生の発表をインターナショナル・フェスティバルの1つのプログラムとして実施したのは、初めてだった。フェスティバルの来場者は、色々な所を見たいので1か所に長くともどまらず、椅子に座って発表を見てくださったのは、主に年配の方だった。フェスティバルで留学生の発表を長く聞いてもらうことは難しいと実感した。



「留学生と交流する会」

(3) 世界の音楽会（2-6）

当年度は川崎市と友好都市との提携周年には当たらないため実施せず。

■2 多文化共生推進事業

(1) 外国人市民と共生するまちづくりセミナー(2-3)

「多文化共生フォーラム」の講演から学んだことを再認識するとともに、実際に市民同士が対話をする場としてワールドカフェを開催した。

（日時）令和6年8月31日（土）14：00～16：00

（内容）「多文化交流ワールドカフェ」

（参加人数）24名

（総括）

前半は、「多文化共生フォーラム」に参加したパネラーから、自分が経験してきた人との出会いやつながりについて話していただいた。後半は、ワールドカフェという形式のグループディスカッションを行った。「国や文化の違いのある人と、どんな出会いやつながりがあり、どんな事を一緒にやってみたいか。どんな機会があるといいか。わたし、あなたにできることはなにか」のテーマを元に、参加者は自分の考えや経験を話しつつも、きちんと相手の話も聞くことで、良い対話が生まれていた。参加者の意識レベルが高く、多文化共生に関心があるという共通点もあり、皆が会話を楽しんでいた。



(2) 母語母文化継承支援事業(2-3)

ア 多言語読み聞かせ事業

(日時) 令和6年8月17日～令和7年1月11日(土) 11:00～12:00 (全6回)

(会場) 川崎市国際交流センター 情報ロビー

(講師) THE アート・プロジェクト 多文化読み聞かせ隊

(内容) 多言語による世界の絵本の読み聞かせと紙芝居

(参加者) 延べ子ども46名(内、寺子屋児童3名)、大人42名

(総括)

外国につながる子どもの寺子屋に続く時間帯に開催し参加を誘導したが、実際は、乳児～幼児の日本人親子連れの参加がほとんどだった。

イ「多文化共生ふれあい事業」等の促進

市内の小・中学校等または市教育委員会から依頼に応じ、多文化共生や国際理解教育のため、国人市民の講師を派遣した。

特に小学校では、外国につながる子どもの出身国を他の子どもたちが知る、本人も自分の国の良さを認めることができる、良い機会となった。

(内容) 多文化共生、国際理解教育への講師派遣(モンゴル、中国、ブラジル、ベトナム等)

(派遣先) 市内小学校他 13件 延べ21名

(3) 外国につながる子どもの教育フォーラム(2-3)

(日時) 令和6年12月18日(水) 14:00～16:30

(会場) 川崎市国際交流センター 第2・3会議室

(講師) 東京都立大学教授

(内容) 学校の中の支援者と地域の支援者が、外国につながる子どもが抱える課題や社会の問題を考え、交流と情報交換を行う。

(参加者) 20名

(総括)

学校関係者の参加のしやすさを考慮し、教育委員会と協議して、日程を学校行事の少ない12月の水曜日午後に設定した。例年よりも多くの参加があった。

■講座・事業アンケート結果

指定管理事業(公2)			分かりやすかった				ためになった				楽しかった				満足度
事業名	講座名	回答数	大いに満足	満足	普通	期待内容 と相違	大いに満足	満足	普通	期待内容 と相違	大いに満足	満足	普通	期待内容 と相違	
			(大変よかった)	(よかった)			(大変よかった)	(よかった)			(大変よかった)	(よかった)			
情報収 集・提供 事業	川崎ジュニア文化賞入賞作品展示	41									24	11	5		87.5%
広 報	編集ボランティア研修会(全2回)	18	16	2			16	2							100.0%
講 座 ・ 研 修 事 業	グローバルセミナー	123	68	40	5	1	71	32	3	1					95.5%
	英語による国際理解講座(前期1)	16	6	7	2		5	9	1		6	8	2		89.1%
	英語による国際理解講座(前期2)	16	8	6	2		8	4	4		9	4	3		81.3%
	英語による国際理解講座(前期3)	15	12	3			11	4			11	4			100.0%
	英語による国際理解講座(後期1)	31	23	6	2		22	7	2						93.5%
	英語による国際理解講座(後期2)	23	13	8	2		15	7	1						93.5%
	英語による国際理解講座(後期3)	22	14	6	2		13	7	2						90.9%
	韓国語による国際理解講座	16	11	4	1		15	1			15	1			97.9%
	フランス語による国際理解講座	26	19	6	1		19	6							98.0%
	観光ボランティア通訳セミナー	27	15	9	2		17	10							96.2%
	災害時支援ボランティア養成セミナー	23	11	9	1		13	8			16	3	2		95.2%
	外国につながる子どもの学習支援リーダー研修	27					22	3							100.0%
	日本語講座ボランティア登録事前研修(合算)	27	17	10			20	7							100.0%
	日本語講座ボランティアブラッシュアップ研修	20	10	9	1		12	7	1						95.0%
	生活にほんごサロンサポーター養成研修(全3回)	84	57	19	7		59	20	4		56	20	6		93.1%
	生活にほんごサロンサポーター ブラッシュアップ研修	11	7	4			7	4			6	5			100.0%
	生活にほんごサロンサポーター交流会	33	14	13	5	1	17	15	1	1	18	13	2		90.0%
国 際 交 流 促 進 事 業	日本語スピーチコンテスト	91					57	27	2		61	24			98.8%
	留学生と交流する会(インター内の為未実施)														
	外国人市民と共生するまちづくりセミナー	22	11	8	3		13	8	1		15	7			93.9%
	外国人につながる子どもの教育フォーラム	18					11	6							100.0%
															満足度平均
															95.0%

V 外国人相談事業

■1 外国人相談事業

「ワンストップセンター外国人相談窓口」の運営として、外国人市民の日常生活に関する幅広い相談に対しての情報提供や助言、必要に応じて関係機関・団体等の紹介を実施した。相談は、ワンストップセンター窓口、専用ダイヤル電話、メール、オンライン（Zoom）で対応した。相談員は在留管理局などが主催するオンライン研修などに積極的に参加し、相談者へ最新の情報を的確に届けられるよう努めた。また、定期開催の課内会議や必要に応じた臨時会議などで相談員同士の情報共有を図り、また外部機関からの講師による課内研修を実施するなど、相談対応の質を保てるよう心掛けた。

(1) センター相談事業（2-4）

川崎市国際交流センター

相談員 8 名（含 7 名母国語スピーカー）による相談業務を実施

相談曜日・時間：月曜～土曜 9:00～17:00

やさしい日本語・英語・中国語：月～土

スペイン語・フィリピン語・インドネシア語：火・水

韓国・朝鮮語：火・木

ポルトガル語・ベトナム語：火・金

タイ語：月・火

ネパール語：火・土

(2) 相談実績

川崎市国際交流センターにおける年間相談件数 3,200 件（昨年度比 13.8%増）

ア 相談対応言語別

日本語	英語	中国語	韓国語	ベトナム語	ネパール語	インドネシア語	フィリピン語	タイ語	クメール語	ミャンマー語	モンゴル語	ポルトガル語
782	627	212	5	44	117	5	323	80	0	0	0	68
スペイン語	ロシア語	ウクライナ語	その他	合計								
148	0	0	0	2,411 名								

※複数言語で対応した場合は、主要な対応を行った言語に計上

イ 相談手段別

電話	来館	メール	Facebook	オンライン	出張相談	Face Time	手紙	FAX	合計
1,492	796	589	243	49	25	6	0	0	3,200 件

ウ 国籍等別

日本	中国	台湾	韓国	ベトナム	ネパール	スリランカ	インドネシア	フィリピン	タイ	カンボジア	ミャンマー	モンゴル
452	273	10	33	68	183	14	32	412	96	1	8	1

ブラジル	ペルー	ロシア	ウクライナ	その他	アジア	アフリカ諸国	ヨーロッパ	北米	南米	オセアニア	不明	合計
81	119	16	5		186	36	83	70	40	20	172	2,411名

エ 申出のあった相談内容別件数

入管 手続	雇用・ 労働	社会 保険・ 年金	税金	医療	出産・ 子育て	教育	日本語学習	防災・災害	住宅	身分 関係 結婚/ 離婚 /DV等	交通・ 運転 免許	通訳・ 翻訳
157	117	150	119	118	91	269	538	6	168	46	12	403

福祉	マイ ナン バー	ウクラ イナ関 係	コロナ ウイル ス関係	手続 一般	その他	合計
67	27	3	0	19	890	3,200件

(3) 生活オリエンテーション (2-4)

川崎市で快適に暮らすための生活情報提供などの事業として、「インターナショナル・フェスティバル in カワサキ」や「備えるフェスタ in 新百合ヶ丘」などのイベントや、宮前市民館の2階ロビーでの出張相談を実施し、日本の生活に役に立つ、健康保険、マイナンバーカード申請、教育、子育て、医療、ゴミ出し方、日本語講座等を紹介した。

	開催日	会場	国籍	人数
1	11月17日(日) 10:00~16:00	川崎市国際交流センター (インターナショナル・フェスティバル in カワサキ)	タイ6名、中国4名、ミャンマー2名、エジプト2名、ペルー1名、日本1名、フィリピン1名	17名

2	11月29日(金) 9:30~12:30	宮前市民館2階 ロビー	タイ2名、フランス1名、ロシア1名、フィリピン1名、スペイン1名	6名
3	12月7日(土) 10:00~15:00	「備えるフェスタ in 新百合ヶ丘」会場内ブース	個別相談は該当者なし。	

(総括)

イベントに訪れる外国人市民が、気軽に立ち寄り相談できる機会を提供できた。

同時に、日本人を含めた来場者に積極的に声掛けをし、「外国人相談窓口」のパンフレットを配布し、ワンストップセンターの存在も周知できた。



川崎市国際交流センター（インターナショナル・フェスティバル in カワサキ）

(4) 相談支援 (2-4)

ア 専門相談・各種連絡会議等

(センター内)

行政書士による「外国人ビザ無料相談会」(毎月第3日曜日 14:00~16:00)

(外部機関)

かながわ外国人居住支援 NW 運営協議会、川崎市あんしん住宅ネット会議、川崎市女性保護事業関係機関連絡会、川崎市 DV 被害者支援対策推進会議、中原区子育てネットワーク会議・中原区未来フェスタ実行委員会、関東ブロック国際化連絡協議会、神奈川県外国人相談機関連絡会、多言語支援センターNW 会議、関弁連外国人相談担当者による懇談会、行政機関・同種団体・研究機関等からのアンケート、調査協力依頼への回答多数

イ 相談員研修当協会の相談員全員による相談事案の共有と情報交換のためのミーティングや研修を、原則毎月第1火曜日に川崎市国際交流センターで行った。さらに、川崎市国際交流センターで実施する研修や外部機関が実施する研修に相談員を参加させるなど、新しい情報の収集に努めるとともに、相談員の資質向上に努めた。

第1回 6月11日(火) 「市営住宅説明会の研修会」

第2回 12月10日(火) 「消費者被害の防止対策について」

第3回 2月25日(火) 「相談員の心のケア」

ウ 令和6年度研修

	研修内容	月	日	参加人数	主催者	開催場所またはオンラインの場所
1	多文化共生基礎研修	4月	25	4名	(公財)東京都つながり創生財団	オンライン
2	市営住宅申込みについての研修	6月	12	8名	川崎市国際交流協会	川崎市国際交流センター
3	外国人相談窓口研修員研修会 入管法の基礎知識	6月	18	5名	東京出入国管理局	オンライン
4	外国人相談窓口研修員研修会 災害対応を含む複合支援について	6月	19	4名	東京出入国管理局	オンライン
5	外国人相談窓口研修員研修会 外国人児童の発達障害の現状と課題について	6月	28	4名	東京出入国管理局	オンライン
6	多文化共生の担い手連携促進 研修会(第一部)	10月	31	3名	自治体国際化協会 市民国際プラザ	オンライン
7	外国人相談窓口連絡会	11月	20	4名	東京出入国管理局	オンライン
8	暮らしのセミナー	12月	10	8名	川崎市国際交流協会	川崎市国際交流センター
9	かながわ自治体の国際政策研究科による研修	令和7年1月	23	1名	かながわ自治体	オンライン
10	外国人居住支援ネットワーク	2月	14	1名	神奈川県国際課	かながわ県民センター会議室
11	中原区こどもネットワーク	2月	18	1名	中原区役所地域ケア推進課	中原区役所
12	外国籍県民支援・相談機関	2月	20	1名	神奈川県国際課	神奈川県地球市民かながわプラザ
13	相談における心のケア	2月	25	8名	川崎市国際交流協会	川崎市国際交流センター
14	外国人相談窓口連絡会	2月	25	1名	東京出入国管理局	オンライン
15	外国につながるこどもと保護者のためのプレスクール	2月	15	3名	川崎市教育委員会	教育文化会館
16	外国につながるこどもと保護者のためのプレスクール	3月	2	1名	川崎市教育委員会	多摩市民館
17	外国につながるこどもと保護者のためのプレスクール	3月	8	2名	川崎市教育委員会	高津市民館

VI その他の事業

■1 国際交流センター設置目的に沿った事業

(1) 木月庵の利用拡大

川崎国際交流茶道研究会が主催する「木月庵を大切にする会」に協力することにより、茶室の利用促進を図った。

ア 第28回木月庵を大切にする会～光の茶会と詩吟を楽しむ会～

(日時) 令和6年9月22日(日) 10:00～15:00

(会場) 川崎市国際交流センター茶室「木月庵」

イ 第29回木月庵を大切にする会～夢の茶会と箏曲を楽しむ会～

(日時) 令和7年3月9日(日) 10:00～15:00

(会場) 川崎市国際交流センター茶室「木月庵」

(2) オープンスペースの活用

国際性あふれる施設空間の活用として、玄関前広場の市民利用を促進した。

(利用時間) 9:00～17:00 (休館日、施設点検日を除く)

(利用料) 無料

(利用日数) 46日(申請件数57件)

(利用内容) 社会福祉を目的とした利用3日

地域交流を目的としたフリーマーケットやフードパントリー会場としての利用54日

(総括) 暑さや天候不良、年間を通じて仮予約をしていたが中止と判断等で中止となった日が合計11日あった。ホールやレセプションルームを利用して講演会等のイベントに併せて社会福祉に絡めてのイベントの開催が3件あった。フリーマーケットやキッチンカーで出店参加の人の中にはセンター初来館の方もおり、センター周知に貢献した。

(3) センター活用推進検討委員会の活用

川崎市国際交流センターの活用促進を図るため、川崎市国際交流センター活用推進検討委員会を開催した。

(日時) 令和6年11月26日(水) 10:00～11:15

(会場) 川崎市国際交流センター 特別会議室

(議事内容) ・川崎市国際交流センター指定管理者としての評価について

・センターの活用及び今後の取組についての意見交換

令和5年度指定管理者選定委員会の評価結果について委員に報告し、今後どのような取組や工夫改善を行えば評価につながるか意見をもらった。

また、今後のセンター利用者数の増加につなげるための意見をもらった。

(4) ユニセフ協会事業への協力

理事として川崎市国際交流協会会長が、また、運営委員として川崎市国際交流協会交流事業課長がそれぞれ就任しており、神奈川県ユニセフ協会の事業運営に対して連携・協力を行った。

また、街頭募金活動への協力及び国際交流センターでの募金活動も実施した。

(5) 施設利用の促進につながる取組

玄関前広場の一角にシェアサイクルステーション7台分を継続設置し、利用者の利便性の向上を図った。(年間利用 貸出件数 3,928件 返却件数 3,979件)

(6) 災害に備えた取組

災害時、川崎市の要請により国際交流センター内に外国人支援のための「災害時多言語支援センター」を速やかに設置できるように訓練を実施した。

(日時) 令和7年3月11日(火)14:00~16:00

(場所) 川崎市国際交流センター事務室

(内容) 関係機関、団体等との連絡体制の確保、川崎市が発出する重要な情報の多言語化など

(7) 関係機関、団体等との連携

ア 9月14日(土)・28日(土)に「川崎市観光ボランティア通訳セミナー「街歩きで訪日外国人おもてなし講座」」を開催した際に、街歩きツアーの実践などについて、モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合にご協力をいただき同商店街で行った。

イ 川崎市観光協会主催により令和6年10月5日(土)に開催された「第83回川崎市制記念多摩川花火大会」に協賛した。

ウ 令和7年3月22日(土)~4月5日(土)に住吉観光協会が地域のイメージアップや地域振興のために開催した「住吉ざくら」さくら祭にボンボリ提灯掲出行い、地域との連携協力を行った。

VII 施設運営及び維持管理業務

(1) 国際交流センターの管理運営 (JV)

ア 統括業務

施設の運営、維持管理業務を円滑に行うため、業務間調整、職員への教育・指導を行った。

イ 施設利用受付及び案内業務

(ア) 来館者に対するサービスに努め、会議室等の鍵の貸出し、利用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を誠実に行った。

(イ) 国際交流センターの特性として、来館される外国人市民等の皆さんに対応するため、語学に堪能な職員を配置するとともに、ふれあいネットや各種機器等への説明、接遇について研修を実施し、利用者に快適なサービスを提供した。

ウ 施設利用促進業務

(ア) 国際交流センターの正面玄関への誘導案内を多言語で街路灯等に表示し、来館者の利便性を図った。

(イ) 国際交流センターホテルとの連携を図るため、宿泊に係わる利用案内や各種関連事業の開催について説明し、施設の利用促進を図った。

(ウ) 随時、施設見学の要望を受けて市民への利用促進を図った。

エ 自動販売機(屋外3か所、屋内3か所)、コピー機(図書・資料室)、AED(エントランスロビー)、及びインターネットを無料で提供できるWi-Fiを設置(エントランスロビーや談話ロビー、外国人相談を行う事務室、ホール、レセプションルーム、第1~5会議室、料理室等)することで、利用者へのサービスを提供した。

オ 特殊簡易公衆電話(通称ピンク電話)を設置し、利用者の利便性を図った。

カ 図書・資料室管理業務

- (ア) 資料の組織、閲覧、レファレンス業務のほか、情報文化活動の拠点として国際交流に関わる様々な情報の収集及び受入・配架作業を行い、利用者へ国際交流・国際理解・多文化共生に役立つ情報提供を行った。
- (イ) 地域の中学校から生徒の職業体験を受け入れ、資料装備・ポップ制作などの体験実習を行った。生徒が制作したポップを図書資料とともに室内展示し、職業体験の成果を利用者へ紹介した。
- (ウ) 利用の促進を図るため「図書・資料室だより」を年6回発行し、新着図書の紹介や、特集としてテーマ別の図書の紹介を行った。近隣の公共機関及び小学校などに配布し、施設の周知に努めた。
- (エ) かわさき国際交流センターニュース「SIGNAL」に図書・資料室からの図書紹介記事を掲載するほか、Webページで「図書・資料室だより」や室内の「展示コーナー」等の紹介を行い、所蔵資料の紹介と図書・資料室の周知を図った。
- (オ) 子どもから高齢者まで幅広い利用者層を意識し、細やかなサービスの提供を行った。「よみきかせタイム」は従来通り午前中のみとし、午後は静かな利用をお願いすることで、時間帯によるゾーニングを行い、静かな環境を求める利用者にも配慮しつつ、多様なニーズに応えるよう努めた。
- (カ) 親子席・絵本コーナーで季節に応じた初夏装飾を行い、親しみやすい閲覧環境を整備した。また多言語絵本については、所蔵言語の情報を日本語・英語併記で掲示し周知を図った。
- (キ) 情報誌（各県国際交流協会・民間交流団体広報誌）の展示ファイル109冊を更新した。古い紙ファイルを樹脂製のファイルへ切り替え、情報利用環境の促進に努めた。
- (ク) 保管期限の過ぎた雑誌、図書・資料室で受け入れない寄贈資料を利用者に提供する「リユースコーナー」を常設し、資料の有効活用を図った。
- (ケ) 新着図書コーナー、隔月毎に設ける展示コーナーの図書展示において、利用者に向けて、様々なジャンルの本の紹介を行った。
- (コ) 川崎市国際交流センターで開催される各種講座やイベントに関連する資料をポスターとともに配架展示し、広報の一助となるよう努めた。
- (サ) 川崎市関連の図書照会コーナーを設け、地域の資料収集・保存施設として、地元資料の紹介・提供を行った。
- (シ) 新書籍を173冊購入した。

キ 施設・設備の維持管理及び補修業務

- (ア) 国際交流センターの施設・設備を総合的に管理し、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び補修業務を行った。
- (イ) 中央監視システムならびに施設の巡回点検を通じて、諸設備の安全な運転監視と操作を行うとともに、適切な保守管理を実施し予防保全に努めた。
- (ウ) 施設の経年劣化に対応するため、施設・設備の年次補修計画を策定し、効果的かつ効率的な補修を実施した。
- (エ) 施設・設備の劣化状況や異常を早期に把握し、適切な予防措置と迅速な処理を実施して、効果的な管理運営と施設の耐久化を図った。

ク 舞台及びＡＶ機器等維持管理業務

市民文化の醸成と国際文化交流の場とすべく、利用者に機器の使用説明と操作指導を行うとともに、ホール、レセプションルーム、特別会議室等の舞台装置、機器類の維持管理を行った。

ケ 施設警備業務

宿泊施設を併設する国際交流センターの事情を考慮し、夜間時の機械警備と連携して一般警備を行い、防犯、防火、防災に努めるとともに、機密の保持に留意した。

コ 駐車場管理業務

駐車場内での車両の適切な配置整理を行うとともに、歩行者及び自転車利用者等の安全を図り、事故防止に努めた。また、外路への渋滞回避など快適な利用ができるよう配慮した。駐車場利用料について、毎日の売上金の回収、集計、及び駐車場利用者のデータ集計を実施した。

サ 設備保守点検業務

施設機能の低下を防止し、予防保全及び機械・装置の耐久年数を伸ばすとともに、全体の機能が円に運用維持されるよう、各設備の定期点検及び法定点検を実施した。

シ 施設環境衛生管理業務

(ア)「建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）」に基づく環境衛生管理基準に従い、室内環境の維持、飲料水の水質管理及び館内消毒を行い、快適な利用空間を提供した。

(イ) 空気環境測定業務 年 6 回（奇数月）

(ウ) 飲料水水質検査 年 2 回（2 月・8 月）

(エ) 給湯水水質検査 年 2 回（2 月・8 月）

(オ) 害虫防除 年 12 回

(カ) レジオネラ症対策

空調用冷却塔へ水処理剤の投薬実施。冷却水水質検査年 2 回（6 月・8 月）

ス 施設清掃業務

(ア) 施設内外を常に清潔で衛生的な状態に保ち、その保全と美観の維持に努めた。

(イ) 施設ごとに材質及び用途に最も適した方法で清掃を実施した。また、利用者の利便性を考慮して、各施設が利用されていない時間帯に適宜に実施した。

(ウ) フリースペースであるイベント広場の出入口付近は土砂等で汚損されることが多いため、常に巡回清掃に努めた。

セ 植栽維持管理業務

(ア) 施設周囲の街路樹等を定期的に剪定し、緑溢れる空間の創造に努めた。

(イ) イベント広場等の庭園の雑草を定期的に駆除し、利用者の憩いの場の環境維持に努めた。

(ウ) 茶室及び周辺的环境整備に努めるとともに、茶室庭園の維持管理を行った。

ソ 意見箱の設置

(ア) 施設内 3 か所に意見箱を設置した。

(イ) ＨＰからも意見を受け入れられるようにした。

(ウ) 日本語での用紙だけではなく、英語・やさしい日本語での用紙も用意した。

(エ) 年間（令和 6 年度）を通じて、19 件の要望・意見が寄せられた。回答希望があった 2 件については、要望・意見をいただいた方へ返信をした。

(2) 施設整備

ア 施設の改修

- ・ 2 F ミーティングスペース ITV 交換
- ・ 別棟排煙窓修理
- ・ 茶室エアコン取付及び既存撤去
- ・ 駐車場精算機新紙幣への対応
- ・ 1 F トイレ系統吸排気ファン交換
- ・ B 1 F 男子トイレ便座交換
- ・ 冷却塔清掃及び薬剤投入
- ・ 第 1 会議室側外扉ヒンジ交換
- ・ 給湯器の移設
- ・ 木月堀埋め立て工事
- ・ 施設周り街路樹剪定

イ 施設的环境整備等

- ・ レセプションルームコートハンガー 2 台購入
- ・ おとなと子どもと本のふれあいコーナーマット及びサイドガード更新
- ・ ホールホワイエ部分の床のカーペット張替
- ・ ホールホワイエ人掛けソファ 5 脚更新
- ・ 団体活動ルーム椅子 36 脚更新
- ・ 駐車場管理室洗面台更新
- ・ 受付横コインロッカー室の LED 化
- ・ 職員男子トイレの LED 化
- ・ 茶室の簾更新、茶道具整備
- ・ 洗浄暖房便座 1 台更新
- ・ レクチャー台ワイヤレスマイク 3 本更新
- ・ 施設利用者用車いす（ノーパンクソフトタイヤ使用）1 台購入
- ・ 附帯設備プロジェクター 1 台更新
- ・ フリー Wi-Fi 用ルーター 1 台更新

(3) 市民共同おひさま発電所

ア 経過等

平成 20 年 8 月に川崎市国際交流センターに「市民共同おひさま発電所」が設置された。地球温暖化対策問題に取り組む市民が中心となり立ち上げた「市民共同発電所プロジェクト」が市民、事業者から集めた寄付金、グリーン電力基金からの助成金及び「ap bank」からの融資を受け自ら設置し、川崎市に寄付したものである。

川崎市の再生可能エネルギーの導入を進めるシンボルとして、センターを訪れる外国人をはじめ多くの人たちに、地球温暖化対策に取り組む川崎市民のメッセージを継続的に発信してきた。

「川崎地域エネルギー市民協議会」が平成 28 年 1 月に設立されたが、「市民共同おひさま発電所」は協議会の主要メンバーである。

イ 設備の概要

- ・ 太陽光発電（合計出力） 6.25KW

(内訳) 川崎市国際交流センター陸屋根設置分 4.32KW、プロムナード上部設置部分 1.93KW
 ・事業費 約 850 万円
 (内訳) 寄付金 150 万円、グリーン電力基金 700 万円

(4) 施設利用実績

ア 令和 6 年度 川崎市国際交流センター来館者数 (月別)

令和6年度 川崎市国際交流センター来館者数										外国人市民来館者数(内訳)							
月	開館日数	施設利用者								合 計	外国人市民来館者数(内数)						
		有料施設	図書・資料室	団体活動 ルーム 協会会議室 利用	有料施設 以外利用	インターネット 利用者	申請者	協会相談	玄関前広 場		協会(相談)	外国人市 民代表者 会議	日本語講座 学習者	図書資料室 利用	その他(受 付)有料施設、 図書等 学習支援 生活日本語サロ ン	インターネッ ト利用	外国人計
4 月	30 日	8,450	818	1,527	2,980	43	77	67	210	14,172	67	26	92	16	365	0	560
5 月	31 日	8,670	825	1,977	3,000	47	84	36	110	14,749	36	26	89	5	371	0	527
6 月	29 日	8,820	883	1,912	3,170	37	74	33	70	14,999	33	23	86	10	488	0	640
7 月	31 日	7,960	1,119	1,412	2,270	37	52	41	110	13,001	41	0	29	11	430	0	511
8 月	31 日	8,270	987	867	2,230	34	77	34	0	12,499	34	0	0	9	447	0	490
9 月	29 日	8,520	849	876	2,760	33	82	63	105	13,288	63	23	82	23	479	0	670
10 月	31 日	9,420	961	2,170	3,000	43	74	29	110	15,807	29	24	72	7	679	0	811
11 月	30 日	8,290	1,149	1,928	10,920	36	69	32	110	22,534	32	25	83	11	2,587	0	2,738
12 月	28 日	7,350	832	1,074	2,850	22	57	42	240	12,467	42	26	78	5	510	0	661
1 月	28 日	7,040	1,028	1,783	2,710	32	69	49	75	12,786	49	25	101	4	413	0	592
2 月	29 日	8,510	1,025	1,337	2,760	41	51	29	185	13,938	29	24	75	11	375	0	514
3 月	30 日	10,640	892	835	3,180	33	67	45	195	15,887	45	0	75	11	407	0	538
合計	357 日	101,940 人	11,368 人	17,698 人	41,830 人	438 人	833 人	500 人	1,520 人	176,127 人	500 人	222 人	862 人	123 人	7,551 人	人	9258 人

イ 令和 6 年度川崎市国際交流センター施設利用状況 (年間開館日数 : 344 日)

施 設 名	利用コマ数	利用率%	施 設 名	利用コマ数	利用率%
ホール (264)	741	71.8	特別会議室 (28)	66	6.4
レセプションルーム	571	55.3	特別応接室 (8)	138	13.4
会議室 (第 1) (36)	511	49.5	料理室 (24)	147	14.2
会議室 (第 2) (24)	601	58.2	交流サロン (30)	861	83.4
会議室 (第 3) (24)	517	50.1	茶 室	403	39.1
会議室 (第 4) (30)	436	42.2	レクリエーションルーム	943	91.4
会議室 (第 5) (30)	454	44.0			
会議室 (第 6) (18)	660	64.0			
会議室 (第 7 和室) (10)	548	53.1			

(注) 1 () は通常の定員数

2 利用コマ数は、利用区分 (午前、午後、夜間) 合計の実利用数

3 利用率は、小数点以下 2 桁を四捨五入

ウ ロケによる施設の利用実績 10 件

・ホール・会議室 映画の撮影 1 件

・ 特別会議室・ 応接室	テレビドラマの撮影 3 件
	プロモーションビデオの撮影 1 件
・ レセプションルーム	プロモーションビデオの撮影 1 件
・ 会議室	テレビドラマの撮影 1 件
・ イベント広場	テレビドラマの撮影 3 件

(5) 収支状況

ア 収入	232,656,857 円 (R5 227,317,254 円)
(ア) 指定管理料	191,968,758 円 (R5 195,907,369 円)
(イ) 利用料金収入	26,714,340 円 (R5 21,570,880 円)
(ウ) 事業収入	3,354,980 円 (R5 2,465,870 円)
(エ) その他収入	10,618,779 円 (R5 7,373,135 円)
イ 支出	237,503,955 円 (R5 228,879,931 円)
(ア) 情報収集・提供事業	2,082,592 円 (R5 1,849,416 円)
(イ) 広報出版事業	3,158,540 円 (R5 2,605,091 円)
(ウ) 研修事業	2,864,922 円 (R5 2,159,030 円)
(エ) 国際交流促進事業	445,155 円 (R5 357,210 円)
(オ) 外国人相談事業	20,853,456 円 (R5 23,793,610 円)
(カ) その他の事業	931,709 円 (R5 700,928 円)
(キ) 事業人件費	32,318,057 円 (R5 28,699,142 円)
(ク) センター管理費	174,849,524 円 (R5 168,715,504 円)

(6) 広告の掲載

ア 広報誌「SIGNAL」への広告掲載	
・ 夏号 2 件	
・ 秋号 2 件	
・ 冬号 2 件	
・ 春号 2 件	合計 8 件 64,000 円
イ ホームページへのバナー広告掲載	
・ 年間 7 件の掲載	合計 81,000 円

■ 個人情報の保護状況

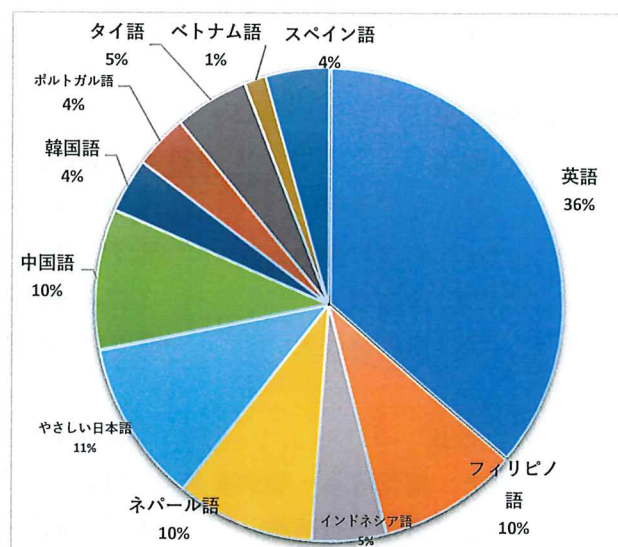
川崎市個人情報保護条例（昭和 60 年 6 月 29 日条例第 26 号）をはじめとした関係法令を遵守し、指定管理者である公益財団法人川崎市国際交流協会・株式会社東急コミュニティー共同事業体の代表企業が定める「公益財団法人川崎市国際交流協会個人情報保護規程」及び「川崎市国際交流センター指定管理者個人情報保護規程」や、プライマシーマーク登録企業である構成企業が定める各種規定に基づき情報管理を徹底している。また、事務局内に個人情報保護管理者を置き管理運営を行うとともに、個人情報保護研修を実施している。

■ 利用者アンケートの実施

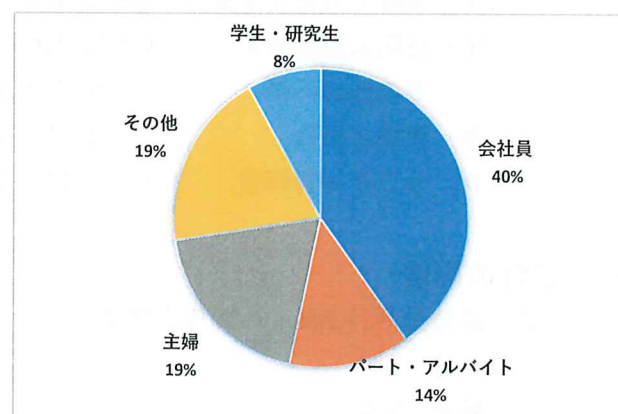
(1) 外国人市民利用者アンケート

(回答数) 135 枚

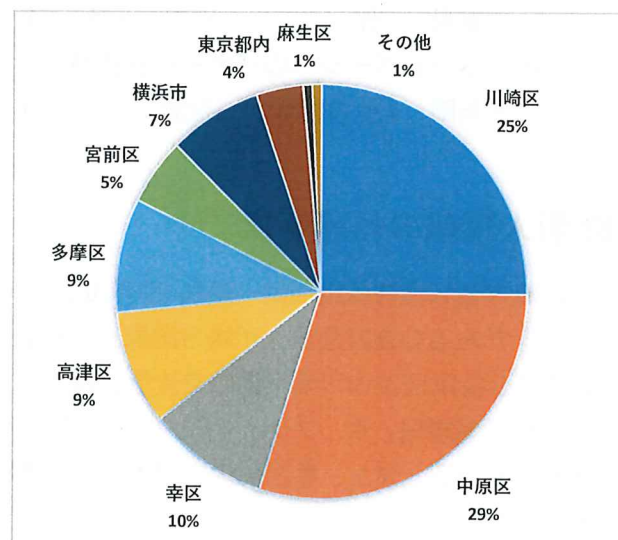
言語別回答人数	
英語	49
中国語	13
韓国語	5
スペイン語	6
ポルトガル語	5
フィリピン語	13
タイ語	7
インドネシア語	7
ネパール語	13
ベトナム語	2
やさしい日本語	15
合計	135



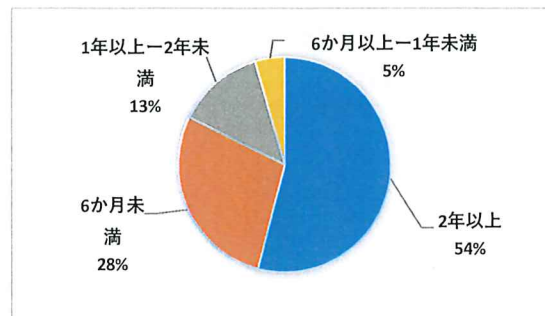
1 何をしていますか？	
学生・研究生	11
会社員	54
パート・アルバイト	18
主婦	26
その他(定年退職、教師、調理師)	26
合計	135



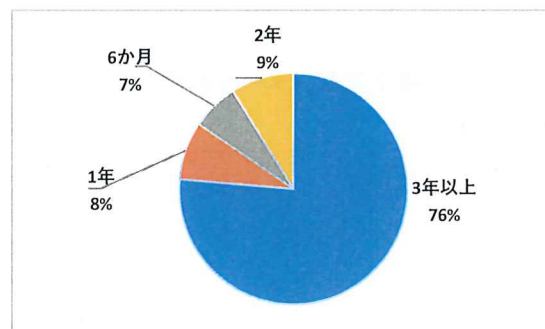
2 どこに住んでいますか？	
川崎区	34
幸区	13
中原区	40
高津区	12
宮前区	7
多摩区	12
麻生区	1
横浜市	10
東京都内	5
その他	1
合計	135



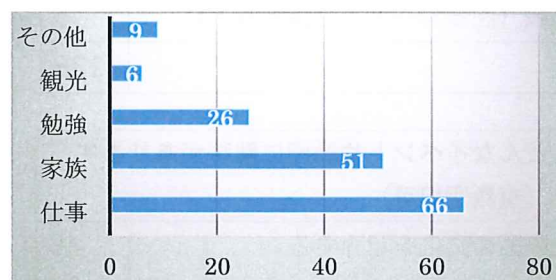
3 日本にどのくらい住んでいますか？	
6 か月未満	38
6 か月以上－1 年未満	6
1 年以上－2 年未満	18
2 年以上	73
合計	135



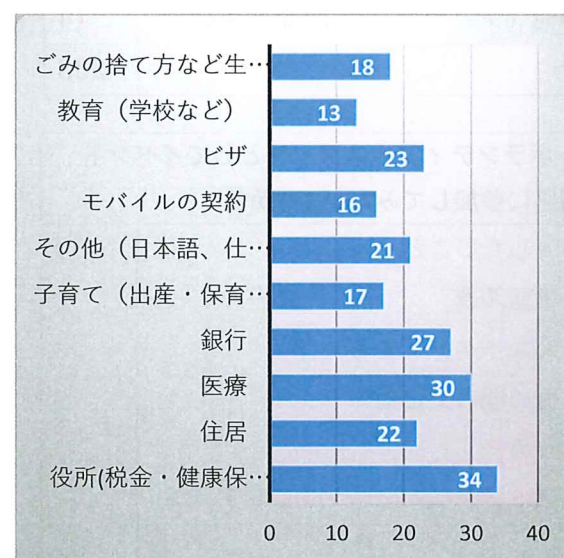
4 日本にどのくらいいる（住む）予定ですか？	
6 か月	9
1 年	11
2 年	12
3 年以上	103
合計	135



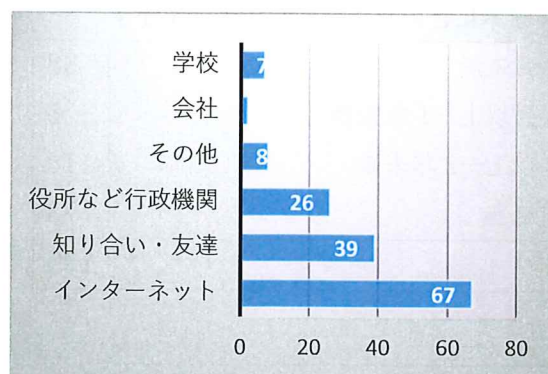
5 日本に来た理由（複数選択可）	
勉強	26
仕事	66
家族	51
観光	6
その他	9



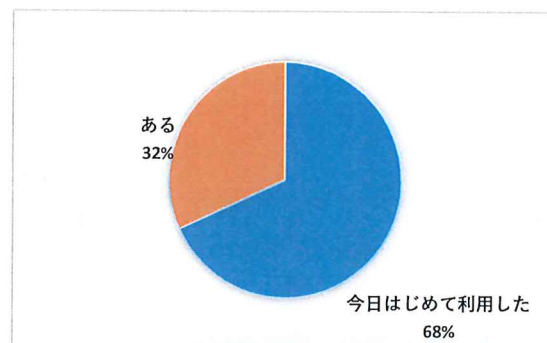
6 日本の生活や手続きで困ったことを教えてください。（複数選択可）	
ビザ	23
役所(税金・健康保険など)	34
銀行	27
住居	22
教育（学校など）	13
子育て（出産・保育園など）	17
ごみの捨て方など生活関連	18
モバイルの契約	16
医療	30
その他（仕事紹介、日本語、労働契約法）	21



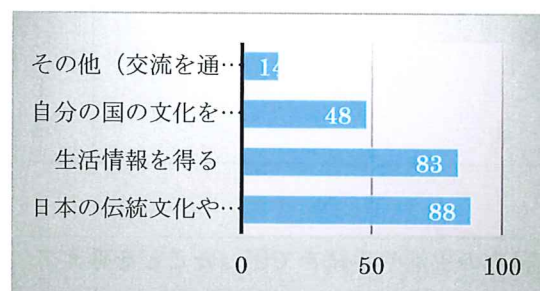
7 どうやって国際交流センターを知りましたか？（複数選択可）	
インターネット	67
学校	7
会社	2
知り合い・友達	39
役所など行政機関	26
その他	8



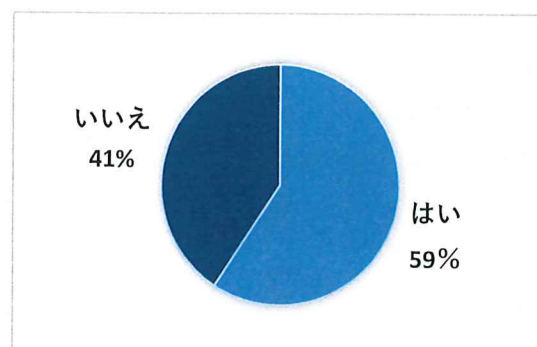
8 今までに国際交流センターを利用したことがありますか？	
今日はじめて利用した	92
ある	43
* 外国人相談	10
* 日本語講座	23
* イベント（インターナショナルスクール）	8
* 施設（図書資料室や会議室など）	5
合計	135



9 どんなイベントや講座に興味がありますか？（複数選択可）	
自分の国の文化を紹介する	48
生活情報を得る	83
日本の伝統文化や季節の行事を学ぶ・体験する	88
その他（交流を通して日本語の勉強）	14
合計	233

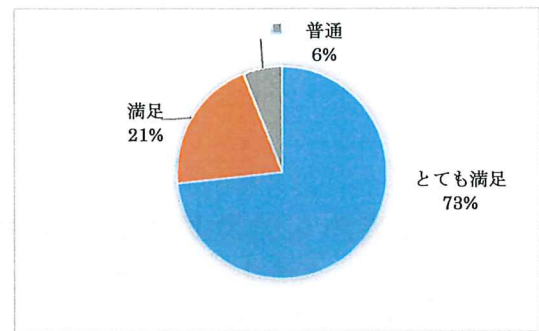


10 ボランティアやスタッフとしてイベントや講座に参加してみたいですか？	
はい⇒したいこと	80
* 日本語関連	
* どんなイベントでも	
* 自分の国の文化紹介	
* サッカー	
* 文化、音楽などブラジルに関する活動	
いいえ	55
合計	135



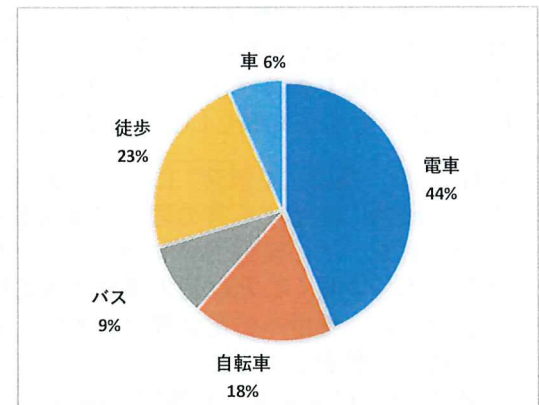
11 本日来館についての満足度

とても満足	99
満足	28
普通	8
不満がある	0
その他	0
合計	135



12 どんな交通手段で来ましたか？

電車	59
バス	12
徒歩	31
自転車	24
シェアサイクル	0
車	9
合計	135



13 その他ご意見・ご要望などございましたら、お書きください。

- * 困ったと時にサポートをしてくれてありがとう。
- * スタッフから熱いサポートを受けた。
- * 語学コースについて問い合わせるのに最適な場所。スタッフは英語でうまくコミュニケーションできる。
- * とても満足している。日本語講座をお楽しみにしている。
- * ありがとう。ここは良いところだから応援する。
- * いい仕事を続けてください！
- * 温かい対応、ありがとう。
- * 出張相談は良かった。ありがとう。
- * とても助かった。
- * 対応したスタッフが親切で忍耐強い。話も分かりやすかった。
- * 満足の相談だった。
- * 受付のスタッフを含めて、みんなとても丁寧で情報も役立った。
- * スタッフが素晴らしい。このようなサービスを維持してください。
- * 外国人が文化や言語を学ぶにはとても良いところだ。

■ 利用者等からの意見などに対する対応状況

利用者等からの意見など	対応状況（改善内容）
4月24日 レクリエーションルームにスポーツミラーを増設して欲しい。	レクリエーションルームには現在2台設置あり。1台約70,000円のため予算との兼ね合いもある。
4月17日 第1会議室利用者から、Wi-fi利用に不具合があるとの連絡があった。設備担当、受付担当で対応したが利用することはできなかった。早急に対応して欲しいとのことであった。	調整を試みたが対応ができなかったため、総務課長からNTTに連絡。仕様がFree Wi-fi対応となっていないことが判明し、所管課を通じて対応を依頼した。
4月26日 騒音（重低音）について電話で相談したが、総務に確認する等の理由で電話番号、氏名を聞かれた。その後連絡がないが、みだりに電話番号、氏名を聞くことは個人情報保護の観点からもおかしい。受付への電話問合せでは、真摯な対応は難しい状況なのか。	4/30にセンター長名にて、騒音の防止に対するセンターの対応の説明や受付担当の対応に対するお詫びのメールを差上げた。その後当該者から返信があり、個人情報を聞かれクレマーのような対応をされたとのことであったため、改めてむやみに個人情報を伺ったことに対してのお詫びをメールにて行った。
4月29日 以前第4・5会議室を利用した方から、「室内に監視カメラがあったが監視しているのか。どこで見ているのか」との問合せが電話であった。	室内に異常がないか等を確認するために、施設管理担当者が確認している旨を回答した。
5月26日 近隣住民（70、80代）から、イベント広場の入口付近にあったベンチが奥に移動していて不便なので、元の場所に戻してほしいとの要望があった。	元の場所の頭上にカラスの巣があるため移動したもので、巣が高所にあり、子育て中のため暫くは移動できない。
5月27日 多摩市民館の職員から、当センター多目的広場の利用を検討中の方から、車椅子で利用できるかの相談を受けたと連絡があった。	駐車場から多目的広場までの導線と広場に入るときに段差がありバリアフリー対応となっていないため、介助がないと難しい旨を説明した。
7月10日 電話にてホール利用の抽選に関して問合せがあり、1月の土曜日4回のうち3回、2月の土曜日も4回のうち3回が事前に川崎市や協会事業にて予約されており、一般利用ができない日が多すぎるのではとのことであった。	協会事業の予備日等の日程についてキャンセルを促した。
7月11日 卓球ネットとサポーターが緩んで調整しづらい状態である。以前、ネットのひもを渡したので活用して欲しい。	現在ある3つの卓球ネットのうち、2つについてはネット上部を通るひもを交換、残り1つは修繕ができなかったため、ネット自体を新しいものと交換した。
8月16日 交流サロンの午後利用予定者から、台風の影響により警報が発令されているが、キャンセルについて問い合わせがあった。	キャンセル料は徴収しない旨を説明したところ、キャンセルとなった。
10月12日 夜間のレクリエーションルーム利用者から、予約利用の前に多目的広場か玄関前広場を借りることができるかとの相談があった。	清掃終了後（17:30から）、レクリエーションルーム貸出の提案をし、延長料金を徴収して貸し出した。
10月24日 期日前投票での来館者から、駐車券の減免認証をしてもらったが、駐車場出口で料金請求をされたと受付に苦情があった。	受付担当にて再度認証を行い期日前投票担当者にも事情を伝えた。

11月5日 18-19時過ぎにセンター外周の道路を走り込みする小中学生の集団が危険なので、時間を制限するなど規程を設けて欲しい。速度がジョギング程度ではなく、外が暗く危険なので、施設外周を練習目的で走ることを規制して欲しい。	公道であるためセンターとして規制することはできないと考える。第一義的には、注意喚起の貼紙を貼付する。その後、走っている者がいるかを確認するとともに、曲がり角で正面が見えるようにポール等を設置し、鋭角的に曲がれないようにすることを検討する。
11月10日 図書室の勉強スペースを集団用と個人用で分けて欲しい。集団で勉強されると、しゃべってしまうので。	図書・資料室の閲覧スペース的に分けることは難しい。そもそも図書・資料室は私語は厳禁となっており、気づいたときは職員が注意をしている。
1月4日 1月にレセプションルームで行われる「ハワイアンフェスティバル」と同じような内容で、物販や踊りのイベント、マルシェを実施したいとの問い合わせがあった。	施設内で、販売をメインとする利用はできないことを説明。玄関前広場の利用を案内した。
2月3日 障害者向けコンサートでのホール予約者から、大人のおむつ替えのために以前利用させてもらった保健室を今回も利用したい旨の問い合わせがあった。	利用可とした（利用後にはアルコール消毒を実施）。授乳利用者と時間が重なった場合には、授乳利用者を1階空き室に案内する対応を行うこととした。
3月19日 ハンディキャップのある50人ぐらいの団体で講演会を秋頃にホール又はレセプションルームで催したいと相談があり、その際車イスの方などの案内をしてもらえるか質問があった。	対応する職員に限りがあるため難しいので、ボランティアを募るなど対策が必要である旨を伝えた。

■ 施設管理運営における事故等の対応状況

月 日	内 容	対 応
4月26日	近隣住民から、音と振動がするとの電話連絡があった。その後、2回目の電話連絡があり改善されていないとのことであった。さらにメールにて、同じ住民から音と振動に関するについて返答がないことに対する苦情のメールが届いた。	ホール利用者に対して音量を下げてもらった。その後再度、ホール利用者に音量を下げてもらうように依頼した。苦情メールに対しては、取り急ぎ受付から返信のメールをした。
5月2日	談話ロビー利用者から Wi-Fi がつながらないとの問合せがあり、確認したところセンター内のすべての Wi-Fi がつながらなかった。	協会事務室内のルーターの故障と思われ、復旧に時間を要するようなため、館内に不具合を知らせる貼紙を貼付した。故障が判明した時点で業者（NTT）に連絡し、至急の対応を依頼していたため、業者が来館し代替機を設置し当面は利用できることとなった。
6月11日	ホール利用者から、熱中症の症状がある方がいるとの連絡が受付にあった。	保冷剤2個を提供した。その後症状は落ち着いたようであった。
6月28日	駐車場精算機のブレーカーが落ちてしまい故障していることが確認された。	施設管理責任者に連絡し、駐車場出口のバーを上げた状態にすることとした。業者が来館し、翌6/29の10時頃に復旧した。
8月3日	第1会議室利用者から、利用者同士のトラブルが発生しているとの連絡があった。	警察官が来館し、施設管理主任からも警察官が事情を聴取した。

8月4日	「こどものまちミニカワサキ」に参加していた小学生男子が転倒してケガをしたと受付に来た。	傷口を水で洗い流し傷パットを渡して自身で応急処置してもらった。その後、主催者に連絡、対応を依頼した。
8月23日	第1会議室の利用者から、室内の机の棚に忘れ物(手提げ金庫)があると受付に連絡があった。	受付で引き取り確認したところ、鍵がかかっておらず、現金と国際バレーと記入された封筒が入っていた。代表者に電話連絡を入れたが、でなかったため留守電にメッセージを残し、協会の金庫に保管をした。8月27日に来館したため、金庫の中身等を確認のうえ引き渡した。
8月24日	レセプションルームで行われていた催し物に来た来館者が、正面玄関横に停めていた自転車が見当たらないと受付に連絡があった。	センター駐輪場やセンター周辺を探したが見当たらなかった。自転車にカギをかけていなかったとのことで、発見した際には連絡することを伝え、連絡先を伺った。警察署に届け出ることを勧めた。
12月10日	ブレーメン通り商店街の説明等を受けるため、第2・3会議室を利用する宮崎県からの修学旅行生を乗せた大型バスが、センターに来館する際に誤ったルートを通行し立往生してしまったとの連絡があった。	総務課長、駐車場担当、受付担当で現場(法政大学グラウンド付近)に向かい、受付担当が生徒等を徒歩でセンターまで引率し、総務課長、駐車場担当で交通整理などを行いバスの方向転換、センターまでの誘導を行い、無事にセンターに到着した。
12月14日	イベント広場のレセプションルーム外側付近で、釣り糸のようなものがあり、子どもが躓いたと保護者から受付に連絡があった。	中央監視室に報告し糸のようなものを処理してもらった。イベント広場に蒔いた芝生の種用藁を編んでいたもので、一部埋設していたと思われる。
1月19日	イベント広場で自転車に乗って遊んでいる子どもがいるとの連絡があったため、小学生3名に注意した。その後、子どもが転んで血を出していると連絡があり、確認したところ、先ほど注意した子どもであった。	額を切り出血していたこと、頭をぶつけていたため、保護者に連絡を取り迎えに来てもらうように依頼し、母親が迎えのため来館した
2月1日	正面玄関前で会議室利用者が聖書講演会の案内を持ち立っていたため、声を掛けたところ、新しく興味を持った方への勧誘、来た方にプレゼントの用意があるというものであった。	勧誘活動はできない旨を説明し、立つことを止めてもらった。
2月8日	親子連れから受付に、屋根付き駐輪場横にあるコーンバーを壊してしまったと連絡があった。	自転車が倒れ、コーンバーに当たったもので、新しいものと交換した。
3月1日	昨夜、歩道の入口で散歩中飼い犬が落ちているドッグフードを食べて下痢をし、動物病院で毒入りのドッグフード食べたためだと判明したと連絡があった。他にもコーヒーの粉が撒かれていたなど同様の件があり、警察に相談している方もいるそうである。	警備員に何か落ちていたら片付ける前に写真を撮って報告するよう依頼した。その後、警察官が現場検証をした。
3月16日	プロムナードで雨漏りしていると報告があった。	コーンで囲ってどこから漏れているか確認した。